

特定非営利活動法人 日本免疫学会
2024年度 前期 Tadimitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	井野 創	会員番号	0036520	
申請者の所属・職名	日本医科大学 大学院医学研究科 大学院生			
出席会議名	The 43rd Annual Meeting of the American Society for Reproductive Immunology (ASRI 2024)			
発表論文タイトル	IL-18: A pivotal player bridging between uterine immunity and placental formation			

実施結果:

この度は、2024年度前期 Tadimitsu Kishimoto International Travel Award に採択して頂き、心より感謝申し上げます。本 Travel Award のご支援のもと、2024年5月18日から5月22日に米国 Houston で開催された The American Society for Reproductive Immunology (米国生殖免疫学会) に参加し、研究成果を発表させて頂きました。

本学会は、主に産婦人科領域における免疫学を研究する臨床医や研究者が研究成果を発表する学術集会です。参加者数は数百人程度と決して大規模な集会ではないものの、研究者同士の交流や議論は非常に活発で、領域のトップランナーとも直接ディスカッションができることが特徴です。

私共は妊娠子宮が産生する interleukin-18 が、妊娠に順応するための母体組織モデリングや、胎盤血管新生を促すことによって胎盤形成と胎児発育を促進しているという研究の成果を発表させて頂きました。大変光栄なことに、私共の演題は Gusdon Award という若手研究者を奨励する学会賞の最終候補として口頭発表をするチャンス頂き、結果 Gusdon Award 基礎研究分野の大賞を頂くことができました。これも本 Travel Award に頂いたご支援と、日本免疫学会に関わる皆様から頂いたご指導の賜物と存じます。今回の発表によって得られた貴重なフィードバックの数々や、米国の研究者コミュニティとのつながりは、今後の研究を発展させてゆく上でのかけがえのない糧となりました。貴重な機会を与えて頂き、誠に有難うございました。

末筆ではございますが、岸本忠三先生をはじめ、選考委員、事務局の先生方、推薦頂きました森田林平先生に心より御礼申し上げます。今回得られた経験を活かし、今後より一層精進を重ね、生殖免疫学の発展に貢献できるよう邁進していく所存です。引き続きご指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



(授賞セレモニーでの記念撮影)